

「いわき市に避難している浪江町民の健康調査支援事業」では、避難住民の健康支援活動として、いわき市内に開設された「日赤なみえ保健室」において「サロン活動」を開催してきました。これらの活動の中の「ママさんサロン」にお子さんと共に参加したお母さんたちにお話を伺いました。

場所： 日赤なみえ保健室（福島県いわき市）
開催日： 2017年2月22日

【どうしてママさんサロンに参加するようになったのか】

- きっかけは、町の広報で知った、家族に勧められて、参加している人に紹介されてなど様々である。
- 浪江町や他の町からいわき市に移ってきたとき、周りに友達もいないため子どもの遊び友達もおらず、外出する機会もなかった。
- 今でも浪江から来たことを周囲の人に話せないが、ここに集まると同じ状況の人ばかりなので、何でも気兼ねなく話せる。

【ママさんサロンに参加してみて感じたことは何か】

- ずっと家にいた幼稚園前の子どもたちが、ここで歌や遊びなどいろいろなことを学ぶことができた。
- 集まった母親たちと話をすることで、病院のことなど情報共有できて助かった。
- ヨガにも子どもを連れて参加し、体も心もすっきりした。子どもと一緒に参加できるのが助かる。子どもをあずけてまで行くことは難しい。
- 母親を支援する、元気にする取り組みは必要だった。母親が元気になると子どもも元気になる。
- 自由なところが良い。参加することも話することも自由。強制されないところが良い。

【ママさんサロンの中で印象に残った催しや出来事は何か】

- プールはアパートではできないので良かった。クリスマス会は楽しかった。
- 子どもが行くことを楽しみにしている。先生や友達と遊べるのが楽しいようだ。
- 小さい子が遊べる場所が他にない。
- ここに来ると先生が子どもを見ていてくれるので、親どうしおしゃべりができる。

【今年度で事業としては終了するが今後への要望は何か】

- プールとクリスマスのイベントだけでもやって欲しい。
- 月に1回だけでも続けて欲しい。